



## 2022年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 ソレイジア・ファーマ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4597 URL <https://www.solasia.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒井 好裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0管理本部長 (氏名) 宮下 敏雄 TEL 03-5843-8046  
 定時株主総会開催予定日 2023年3月23日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2023年3月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年12月期の連結業績（2022年1月1日～2022年12月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	1,092	95.5	△2,470	—	△2,492	—	△2,548	—	△2,548	—	△2,543	—
2021年12月期	559	23.1	△2,419	—	△2,442	—	△2,478	—	△2,478	—	△2,461	—

	基本的 1株当たり当期利益		希薄化後 1株当たり当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率	
	円 銭	%	円 銭	%	%	%	%	%		
2022年12月期	△16.77		△16.77		△97.1		△79.4		△226.1	
2021年12月期	△19.04		△19.04		△79.4		△54.8		△432.9	

#### （2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	百万円	%	%	円 銭		
2022年12月期	3,134		2,662		2,662	84.9		15.85		
2021年12月期	3,144		2,587		2,587	82.3		19.38		

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	百万円	円 銭	百万円	円 銭
2022年12月期	△2,074		△418		2,571		803	
2021年12月期	△2,473		△164		361		714	

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,000	△8.5	△1,150	—	△1,150	—	△1,150	—	△1,150	—	△6.85	
	1,800	64.7	△350	—	△350	—	△350	—	△350	—	△2.08	

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2022年12月期	168,402,310株	2021年12月期	133,946,210株
2022年12月期	436,210株	2021年12月期	440,010株
2022年12月期	151,986,908株	2021年12月期	130,149,265株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年12月期の個別業績（2022年1月1日～2022年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	1,092	95.5	△1,702	—	△1,772	—	△2,084	—
2021年12月期	559	23.1	△2,206	—	△2,228	—	△2,232	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期	△13.72	△13.72
2021年12月期	△17.15	△17.15

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2022年12月期	1,513		1,031		67.9	6.12		
2021年12月期	922		443		47.7	3.30		

(参考) 自己資本 2022年12月期 1,027百万円 2021年12月期 439百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

添付資料P. 2 「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」に記載した事項と同様の理由により、前事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている当社グループの連結業績見通しは、特定の数値による予想が困難であるため、レンジ形式による開示としております。

本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5 「(3) 今後の見通し」をご覧ください。

なお、当社は、2023年2月17日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結財政状態計算書 .....	6
(2) 連結損益計算書 .....	7
(3) 連結包括利益計算書 .....	8
(4) 連結持分変動計算書 .....	9
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 業績の状況

##### 経営成績

	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	前期比 (百万円)
売上収益	559	1,092	533
売上総利益	373	662	288
営業利益 (△損失)	△2,419	△2,470	△50
当期利益 (△損失)	△2,478	△2,548	△70

当社グループは、販売開始済3製品を含むがん領域医薬品パイプラインの拡充及び育成を中心に事業運営を図っており、当期は主に以下の事業活動に務めてまいりました。

#### [開発完了した販売開始済製品]

**Sancuso® (効能・効果：がん化学療法に伴う悪心・嘔吐)**

**エピシル® (使用目的：がん等の化学療法や放射線療法に伴う口内炎で生じる口腔内疼痛の管理及び緩和)**

中国販売を中心とするSancuso®(SP-01)及びエピシル®(SP-03)は、新型コロナウイルス感染症の流行とそれによる都市ロックダウンの影響により、がん診療医療機関の閉鎖と患者診療機会の大幅低下、また当社グループや販売パートナーの営業担当者 (MR:医薬情報担当者) の医療現場アクセス等の拡宣諸活動が制約を受けました。また当第3四半期に行った中国3都市の販売体制変更による影響を受け、両製品の処方数量や出荷数量に影響が生じております。

**ダルビアス® (効能・効果：再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫)**

2022年6月20日に国内製造販売承認を取得し、8月22日に販売を開始しました。

#### [非臨床試験段階の開発品]

**SP-04(予定する効能・効果：がん化学療法に伴う末梢神経障害)**

大腸がん患者におけるオキサリプラチンを含む多剤化学療法に起因する末梢神経障害を対象とした、日本を含む国際共同第Ⅲ相臨床試験の結果に鑑み、当該対象の開発を留保し、タキサン製剤に起因する末梢神経障害を対象とした開発の可能性を探索するため追加の動物試験を実施しております。これまでの動物試験結果で得られた情報をもとに導入元Egetis社と協力して新たな動物試験実施を予定しています。

#### [開発を停止した開発品]

**SP-05(予定する効能・効果：フルオロウラシルの抗腫瘍効果増強)**

大腸がん患者を対象とした、日本を含む国際共同第Ⅲ相臨床試験の最終結果として、主要評価項目及び重要な副次評価項目で統計学的に有意な結果を示さなかったことが2022年11月に判明いたしました。

#### [その他]

また、以下の事業構造・提携関係の改善策を遂行いたしました。

- ・2022年6月に、がん罹患している患者様、抗がん剤副作用に直面している患者様、さらに医療従事者の期待に応えるため、今後も積極的にがん領域の新規開発品への挑戦を継続することが重要と判断し、それに資する長期安定的な財源を確保するため、ダルビアス®(SP-02)のパートナーである日本化薬株式会社との間で、資本業務提携に関する契約を締結いたしました。

- ・2022年6月に、人件費高騰や都市ロックダウン等の中国カントリーリスクへの対処や固定費削減等を主目的とし、当社連結業績赤字の主要因となっていた自社販売体制を解消することを決定いたしました。具体的には、中国3都市（北京市、上海市、広州市、以下「3都市」）にて当社100%出資子会社（Solasia Medical Information Consulting (Shanghai) Co. Ltd.）が運営してきた自社販売体制を同年7月末に解消いたしました。これにより当社連結従業員は77名（2022年3月末）から27名体制（2022年12月末）に縮小いたしました。
- ・上記自社販売体制解消に対応するため、同日にLee's Pharmaceutical (HK) Limited（以下、「Lees」）との間で、当社製品Sancuso®及びエピシル®の中国3都市における販売権につき、当社がLeesにサブライセンスする契約を締結いたしました。これにより、今後は中国全土向けのSancuso®及びエピシル®の当社製品販売は、Leesに対して行ってまいります。
- ・2022年7月に、製品調達価格低減と製品安定供給を目的とし、Camurus AB社（以下「Camurus」）との間でCamurusが保有するエピシル®(SP-03)の製造権を含む全世界事業権利を当社が取得する契約を締結いたしました。

上記のとおり開発品進捗に一定の成果を収め、また損益改善を念頭とした構造改革を実行することにより中長期観点での企業価値向上を図りましたが、短期的損益面においては、製品販売が未だ初期段階にあることや、主力市場である中国での都市ロックダウン影響をもって、製品販売利益を超過する医薬品開発先行投資等を継続している状況にあります。このため、当連結会計年度の単年度損益業績は次のとおりとなりました。

（売上収益、売上総利益）

売上収益は、Sancuso®(SP-01)、ダルビアス®(SP-02)及びエピシル®(SP-03)の製品販売収益等により1,092百万円生じ、また、売上総利益は662百万円となりました。

研究開発費、販売費及び一般管理費の内訳

	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	前期比 (百万円)
研究開発費	845	883	37
販売費及び一般管理費	1,948	2,250	302
計	2,793	3,133	339
(内訳) 人件費	882	661	△220
業務委託費	1,159	1,013	△145
減価償却費、無形資産償却費及び減損損失	495	965	470
その他	256	492	236

（研究開発費、販売費及び一般管理費、営業損益、当期損益）

研究開発費は883百万円発生いたしました。これは主にSP-02承認審査に要した費用及びSP-05第Ⅲ相臨床試験への投資によるものです。販売費及び一般管理費は、前連結会計年度と比べ302百万円増加し、2,250百万円となりました。中国自販体制解消(リストラクチャリング)を中心とする全社的費用抑制を行いつつも、中国自販体制

解消関連の一時費用311百万円の発生、SP-05第Ⅲ相臨床試験結果に鑑みた無形資産減損損失200百万円の計上、エピシル®(SP-03)の中国都市ロックダウン影響による販売不振に鑑みた無形資産減損損失231百万円の計上等が増加要因です。売上総利益より研究開発費と販売費及び一般管理費を減じた営業損益は2,470百万円の損失となり、当期損益は2,548百万円の損失となりました。

(資産性費用の無形資産計上と償却)

当連結会計年度において、開発パイプラインへの投資のうち資産性を有すると認識される開発費用等につき、401百万円を無形資産の増加として計上いたしました。当連結会計年度の開発パイプラインへの投資は、当該無形資産増加額401百万円と研究開発費883百万円の合計額1,284百万円です。

また、Sancuso®(SP-01)、ダルビアス®(SP-02)及びエピシル®(SP-03)の無形資産償却により、当連結会計年度において480百万円の償却が発生しました。また、前掲のとおりSP-05及びエピシル®(SP-03)の無形資産431百万円の減損処理を行いました。これらの結果、無形資産残高は1,570百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	前期比 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,473	△2,074	398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164	△418	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー	361	2,571	2,210

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは2,074百万円のマイナス（前連結会計年度は2,473百万円のマイナス）であり、税引前当期損失2,492百万円が主要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは418百万円のマイナス（前連結会計年度は164百万円のマイナス）であり、開発投資資産計上に関連する支出403百万円が主要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは2,571百万円のプラス（前連結会計年度は361百万円のプラス）であり、第三者割当増資及び新株予約権行使による株式発行収入2,611百万円が主要因です。

③ 研究開発活動

当連結会計年度の研究開発費はSP-05第Ⅲ相臨床試験を中心に883百万円発生いたしました。この他、パイプラインへの投資のうち資産性を有すると認識される開発費用401百万円を無形資産の増加として計上し、当連結会計年度のパイプラインへの投資合計額は1,284百万円となりました。なお、製品開発品毎の詳細は、本日別途公表いたしました「製品開発品等の事業状況（2022年12月期第4四半期）」をご参照ください。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べ9百万円減少し、3,134百万円となりました。流動資産は1,435百万円であり、そのうち現金及び現金同等物は803百万円、売掛金を中心とする営業債権及びその他債権は572百万円です。非流動資産は1,698百万円であり、そのうち開発投資にかかる資産計上額である無形資産は1,570百万円です。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比べ84百万円減少し、472百万円となりました。流動負債は407百万円であり、そのうち営業債務及びその他の債務は332百万円です。非流動負債は64百万円であり、繰延税金負債53百万円が主要構成要素です。

当連結会計年度末の資本は、前連結会計年度末と比べ74百万円増加し、2,662百万円となりました。主な増加要因は第三者割当増資及び新株予約権行使による新株発行2,611百万円であり、主な減少要因は当期損失2,548百万円です。

(3) 今後の見通し

2023年12月期の当社グループ連結通期業績見通しは、以下の主要な事業進捗を前提として、売上収益は1,000百万円～1,800百万円、営業利益(損失)、税引前当期利益(損失)及び当期利益(損失)は△1,150百万円～△350百万円を予想いたします。

① 収益予想の主要前提(1,000百万円～1,800百万円)

Sancuso®(SP-01(中国))及びエピシル®(SP-03(日本、中国、韓国))及び2022年8月に販売開始となったダルビアス®(SP-02(日本))の製品販売収益等を合計し下限値1,000百万円を見込みます。但しこれら製品は未だ販売拡大段階にあり、その市場浸透度は想定事業規模に対して限定的なものとして推測しております。このほか、ダルビアス®の中国権利新規導出契約締結の可能性に鑑み、800百万円の契約一時金収入追加額を見込み、下限値に当該金額を加算し、上限値1,800百万円を想定いたします。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、製品販売、権利導出可否又は導出契約金規模には相当の不確実性があります。

② 営業費用予想の主要前提(2,150百万円)

Sancuso®(SP-01)、エピシル®(SP-03)、ダルビアス®(SP-02)の事業では、製品販売による売上原価発生、市販後調査を含めた限定的なマーケティング活動への投資、無形資産償却費発生等を想定いたします。このほか、新規候補品等への開発投資等による営業費用発生を想定いたします。このうち無形資産償却費は450百万円の発生を見込みます。

上記のとおり、当社グループ全体では先行投資状況が継続されることとなり、△1,150百万円～△350百万円の営業利益(損失)、税引前当期利益(損失)及び当期利益(損失)が生じる見通しです。

収益予想に権利導出契約締結による契約一時金収入を含めておりますが、現段階において導出契約金規模を特定することは困難であり、この状況が当社全体の会計年度内での収益額や費用額に影響を及ぼすことに鑑み、2023年12月期連結通期業績予想は、レンジ形式をもって上記のとおり公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2015年12月期より国際会計基準を適用しております。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	714	803
営業債権及びその他の債権	126	572
棚卸資産	0	14
その他の流動資産	53	44
流動資産合計	894	1,435
非流動資産		
有形固定資産	36	26
使用権資産	84	37
無形資産	2,079	1,570
持分法で会計処理されている投資	—	11
その他の非流動資産	49	52
非流動資産合計	2,249	1,698
資産合計	3,144	3,134
<b>負債及び資本</b>		
<b>負債</b>		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	386	332
リース負債	47	37
その他の流動負債	55	37
流動負債合計	489	407
非流動負債		
繰延税金負債	18	53
リース負債	37	0
その他の非流動負債	10	10
非流動負債合計	67	64
負債合計	556	472
<b>資本</b>		
資本金	2,110	1,436
資本剰余金	5,738	1,500
利益剰余金	△5,204	△223
自己株式	△70	△70
その他の資本の構成要素	13	19
資本合計	2,587	2,662
負債及び資本合計	3,144	3,134

(2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	559	1,092
売上原価	185	430
売上総利益	373	662
研究開発費	845	883
販売費及び一般管理費	1,948	2,250
営業利益 (△損失)	△2,419	△2,470
金融収益	0	0
金融費用	23	18
その他の収益	0	—
持分法による投資損益 (△は損失)	—	△3
税引前当期利益 (△損失)	△2,442	△2,492
法人所得税費用	35	56
当期利益 (△損失)	△2,478	△2,548
当期利益 (△損失) の帰属：		
親会社の所有者	△2,478	△2,548
1株当たり当期利益 (△損失)		
基本的1株当たり当期利益 (△損失) (円)	△19.04	△16.77
希薄化後1株当たり当期利益 (△損失) (円)	△19.04	△16.77

(3) 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
当期利益 (△損失)	△2,478	△2,548
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	17	5
小計	17	5
その他の包括利益合計	17	5
当期包括利益	△2,461	△2,543
当期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	△2,461	△2,543

(4) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			資本合計
					在外営業活動体の外貨換算差額	新株予約権	合計	
2021年1月1日残高	1,402	5,043	△2,726	△70	△6	9	2	3,652
当期包括利益								
当期利益(△損失)	—	—	△2,478	—	—	—	—	△2,478
その他の包括利益	—	—	—	—	17	—	17	17
当期包括利益合計	—	—	△2,478	—	17	—	17	△2,461
所有者との取引額								
新株予約権の行使	707	702	—	—	—	△6	△6	1,403
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	△0
株式報酬取引	—	△7	—	—	—	—	—	△7
所有者との取引額合計	707	695	—	△0	—	△6	△6	1,396
2021年12月31日残高	2,110	5,738	△5,204	△70	10	3	13	2,587
当期包括利益								
当期利益(△損失)	—	—	△2,548	—	—	—	—	△2,548
その他の包括利益	—	—	—	—	5	—	5	5
当期包括利益合計	—	—	△2,548	—	5	—	5	△2,543
所有者との取引額								
新株の発行	510	477	—	—	—	—	—	987
新株予約権の行使	826	810	—	—	—	△7	△7	1,629
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	10	10	10
新株予約権の消却	—	—	—	—	—	△3	△3	△3
減資	△2,010	△5,519	7,529	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	0	—	—	—	0
株式報酬取引	—	△6	—	—	—	—	—	△6
所有者との取引額合計	△674	△4,237	7,529	0	—	0	0	2,617
2022年12月31日残高	1,436	1,500	△223	△70	15	3	19	2,662

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)		(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前当期利益 (△損失)		△2,442		△2,492
減価償却費及び無形資産償却費		495		534
減損損失 (又は戻入れ)		—		431
金融収益		△0		△0
金融費用		23		18
持分法による投資損益 (△は益)		—		3
営業債権及びその他の債権の増減額		51		△446
棚卸資産の増減額		4		△14
営業債務及びその他の債務の増減額		△626		△65
その他		47		△13
小計		△2,448		△2,044
利息の受取額		0		0
利息の支払額		△1		△1
法人所得税の支払額		△22		△28
営業活動によるキャッシュ・フロー		△2,473		△2,074
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		△2		△0
無形資産の取得による支出		△161		△403
持分法で会計処理されている投資の取得による支出		—		△14
投資活動によるキャッシュ・フロー		△164		△418
財務活動によるキャッシュ・フロー				
社債の発行による収入		—		500
社債の償還による支出		△1,000		△500
新株の発行による収入		1,403		2,611
新株予約権の発行による収入		—		10
新株予約権の取得による支出		—		△3
リース負債の返済による支出		△41		△47
自己株式取得による支出		△0		—
財務活動によるキャッシュ・フロー		361		2,571
現金及び現金同等物の増減額		△2,275		78
現金及び現金同等物の期首残高		2,964		714
現金及び現金同等物に係る換算差額		25		10
現金及び現金同等物の期末残高		714		803

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは単一であるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益(△損失)の算定上の基礎は次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
親会社の普通株主に帰属する利益(△損失)		
親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失)(百万円)	△2,478	△2,548
親会社の普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
親会社の普通株主に帰属する当期利益(△損失)(百万円)	△2,478	△2,548
期中平均普通株式数(株)	130,149,265	151,986,908

希薄化後1株当たり当期利益は、ストック・オプション及び株式給付信託が逆希薄化効果を有するため、基本的1株当たり当期利益と同額にて表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。